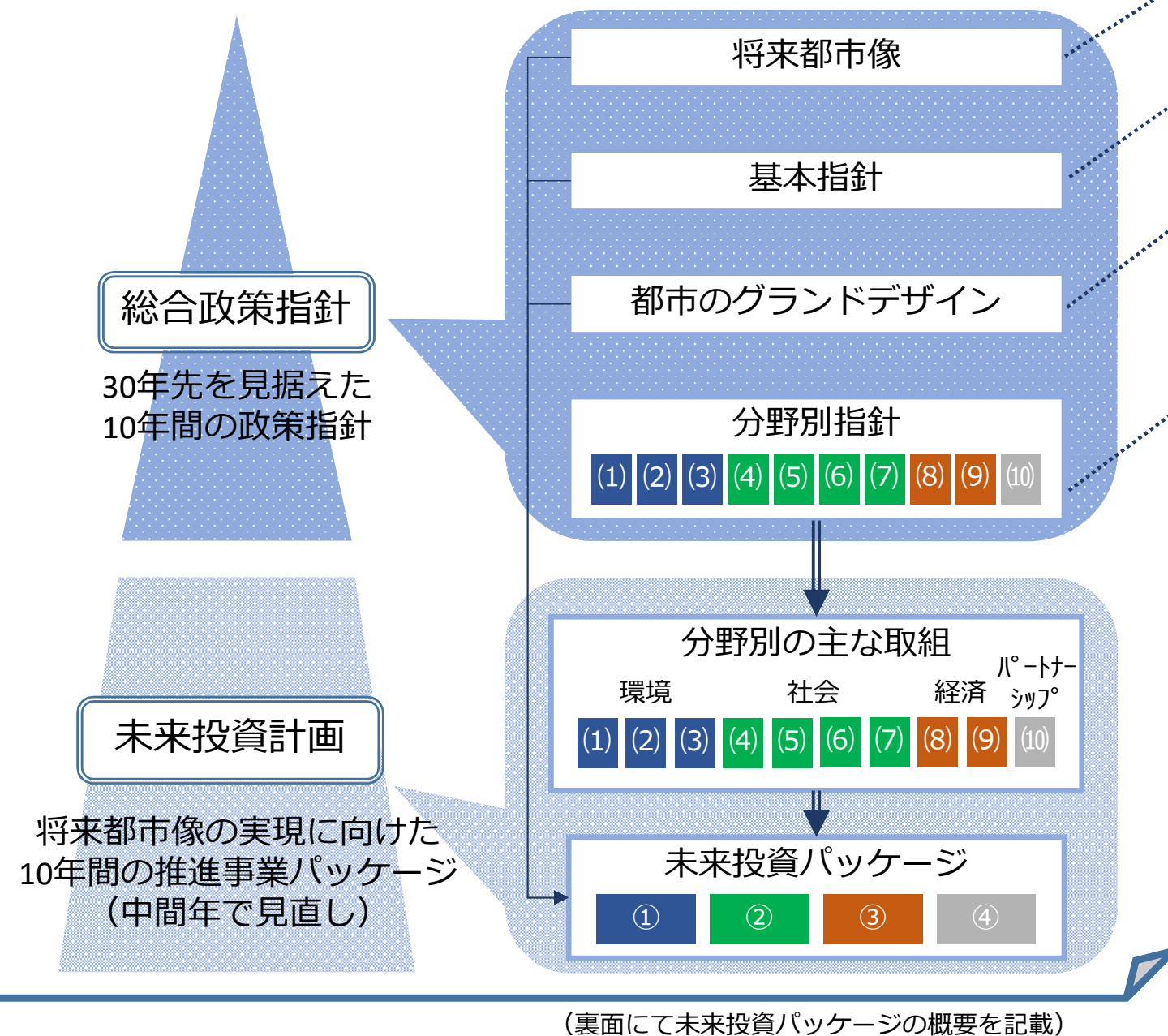


第7次岡崎市総合計画

計画体系図



将来都市像

「一步先の暮らしで三河を拓く 中枢・中核都市おかざき」

基本指針

- ① 公民連携による成長戦略の推進
- ② コンパクトな都市構造の構築
- ③ まちへの誇りが育まれる社会づくり
- ④ 周辺都市との連携の推進

都市のグランドデザイン

- ① 市域中心部
・都市機能用地や
居住地の確保と強靱化
・居住の促進
- ② 市域周辺部
・居住地の確保
・産業用地の確保
・自然環境の保全
- ③ コンパクト
プラス
ネットワーク

分野別指針

(1) 暮らしを支える都市づくり

集約連携型都市の実現に向けて、「しごと」に引き寄せられて集まってきた「ひと」の住宅需要に対応しつつ、暮らしの質を高める都市基盤が充実していく「まち」を目指します。

(2) 暮らしを守る強靱な都市づくり

市民を災害から守ることは、日本経済を支えるものづくり産業の強靱化に直結していることを念頭に、周辺都市を含む公民連携や都市基盤の老朽化対策と連動して、災害に強いまち、被災時もスピード感をもった復旧・復興ができるまちを目指します。

(3) 持続可能な循環型の都市づくり

環境・経済・社会の課題を踏まえ、公民連携して複数課題の統合的な解決を図る地域循環共生圏の枠組みの中で、排出CO2の削減、生物の多様性確保、健全な水循環、森林資源や農地の保全・活用がなされる持続可能なまちを目指します。

(4) 多様な主体が協働・活躍できる社会づくり

人口構成変化や年代別人口偏在に起因する担い手不足に負けない町内会の持続的な活動を新技術導入などにより支援しつつ、多様な主体が協働・活躍できる地域共生社会の実現による安全安心なまちを目指します。

(5) 健康で生きがいをもって活躍できる社会づくり

後期高齢者の急激な増加を迎える中であっても、各主体が我が事として活躍する地域共生社会の実現により保健・医療・福祉・地域が一体となって取り組むことで、誰もが生きがいや役割を持って活躍できるまちを目指します。

(6) 女性や子どもがいきいきと輝ける社会づくり

3世代の同居・近居率の高さ、西三河製造業勤務世帯の多さなど、本市の特性を踏まえ、子育て世代の就労をはじめとする社会での活躍を支援することで、安心して楽しみながら子育てできるまち、子どもがのびのびと育つまちを目指します。

(7) 誰もが学び活躍できる社会づくり

今後、大きな社会変化が起こった場合も、新たな価値や将来を創り出すために、市民が自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに想い描く幸せや活躍を実現できるまちを目指すとともに、学校教育・社会生活の中でおかざき愛が育まれていくまちを目指します。

(8) 商業と観光が成長産業となる地域経済づくり

新技術の普及により生活利便性が著しく向上した社会にあっても、まちを楽しむ人が集う将来を見据え、観光と商業機能が連動した観光産業都市にふさわしい誘客資源が充実したまちを目指します。

(9) ものづくりが柱でありつづける地域経済づくり

産業の変革期や、労働力の不足が見込まれる社会にあっても、国内屈指の製造業拠点の一角を担うものづくり産業が科学や新技術と連携して地域経済の柱であり続けるまち、企業立地を促進するまちを目指します。

(10) スマートでスリムな行政運営の確立

全国的に先進性を有する公民連携、都市経営のスマート化、広域防災など共通課題の解決に向けた取組をきっかけとして、周辺都市との連携体制構築を図り、中枢中核都市として周辺都市を含めた地域全体の支えとなるまちを目指します。

未来投資パッケージの概要（第2期岡崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略）

環境・社会・経済の3側面



市民・事業者・行政の3側面



中心部・周辺部・山間部の3側面

“誰ひとり取り残さない暮らしの好循環”を構築

未来のまちパッケージ

パッケージの基本的方向

公共投資だけではなく民間投資を合わせて誘導することで、新たな都市課題に対応した多世代・多機能な骨太の集約連携型都市を実現し、市民の暮らしの質の向上を図ります。



未来のひとパッケージ

パッケージの基本的方向

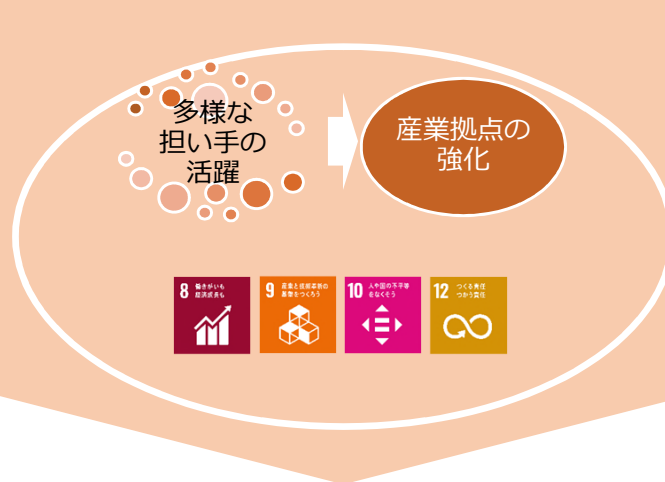
すべての市民が活躍できるよう、町内会組織による地域課題解決の取組をはじめとする地域住民の活躍を支援しつつ、より多様性を受容する社会へと変革し、多様な主体や個人が活躍できる地域共生社会を実現する。



未来のしごとパッケージ

パッケージの基本的方向

各産業の事業者の活動や進出を促進し、未来をけん引する産業の育成・誘致を進め、市民が多様に活躍できる就労環境の構築を図っていく。



未来のパートナーシップパッケージ

パッケージの基本的方向

先進技術の活用などで都市経営のスマート化を進めるとともに、幅広く民間事業者とパートナーシップを確立・強化し、官民連携を誘発していくことで、市民・事業者・公共の連携によるまちづくり体制の構築を図る。



パッケージ概要

パッケージの主な柱	主な推進事業
中心部民間投資誘導	東岡崎駅周辺地区整備 優良建築物等誘導 QURUWA戦略推進 岡崎駅西口投資誘導
周辺部・山間部民間投資誘導	各土地区画整理事業 本宿駅周辺基盤整備 阿知和地区基盤整備 中山間地域投資誘導
拠点をつなぐネットワーク構築	鉄道駅バリアフリー化 新たな交通システム導入 道路ネットワーク整備

パッケージ概要

パッケージの主な柱	主な推進事業
活躍支援体制構築	重層的支援体制整備 岩津地域活動拠点整備 地域課題への新技術活用支援
子育て環境整備	保育定員拡充 放課後児童の居場所拡充 屋内遊戯施設整備 子育て情報発信強化
多様な活躍の基礎充実	次世代技術活用教育推進 ダイバーシティ教育推進 スマートウェルネシティ推進

パッケージ概要

パッケージの主な柱	主な推進事業
ものづくり産業の集積	阿知和地区工業団地造成 産業立地誘導地区活用推進 新たな工業団地候補地検討
商業・観光コンテンツの集積	本宿駅周辺地域拠点整備 スポーツツーリズム推進 観光おもてなし推進
産業人材・技術の集積	共創イノベーション推進 創業・多様な働き方支援 社会人の学び直し環境整備

パッケージ概要

パッケージの主な柱	主な推進事業
民間事業者連携体制構築	連携プラットフォーム構築 課題整理・創出 連携事業推進
市民意見集約体制構築	市民意見交換会議構築 市民意識調査手法構築 情報共有手法構築
他自治体連携推進	スマート自治体推進 広域防災推進 広域山村振興推進

参考指標

指標	現在値	目標値
市内着工建築物工事費	過去10年平均 779億円	今後10年平均 850億円
交通利便性の高いまち	2020年肯定度 11段階平均4.4	10年後到達入7 11段階平均6.0

参考指標

指標	現在値	目標値
社会増減	過去10年平均 317人転入超過	今後10年平均 350人転入超過
住みやすいまち	2020年肯定度 11段階平均6.1	10年後到達入7 11段階平均6.5

参考指標

指標	現在値	目標値
製造品出荷額等 小売業商品販売額	2兆5,572億円 4,212億円	3.5兆円 4,500億円
商工業が盛んなまち	2020年肯定度 11段階平均5.1	10年後到達入7 11段階平均6.5

参考指標

指標	現在値	目標値
プラットフォーム活用 の課題解決件数	—	年平均3件
市政総合満足度	2020年肯定度 11段階平均5.5	10年後到達入7 11段階平均6.5